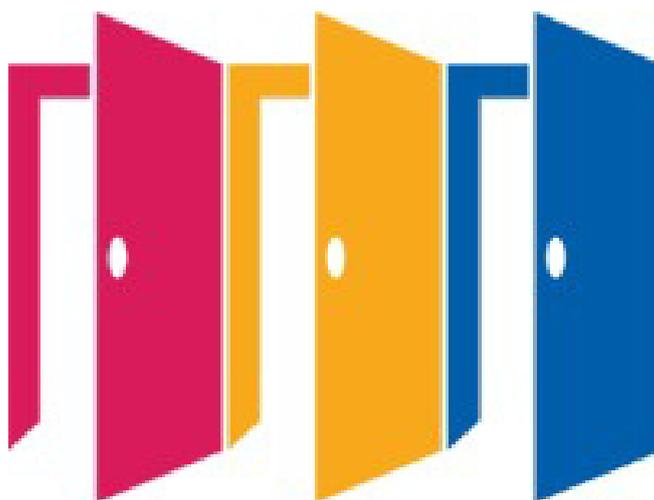


2020 年～2021 年度

クラブ活動計画書(案)



ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー第 2500 地区

釧路ロータリークラブ

会 長 舟 木 博
幹 事 荒 井 剛

2020-2021年度 役員・理事名簿

会 長	舟 木 博	理 事	舟 木 博
副 会 長	土 橋 賢一	〃	土 橋 賢一
幹 事	荒 井 剛	〃	荒 井 剛
S . A . A	木 下 正 明	〃	木 下 正 明
副 S . A . A	樋 口 貴 広	〃	甲 賀 伸 彦
会 計	甲 賀 伸 彦	〃	天 方 智 順
会長エレクト	杉 村 莊 平	〃	杉 村 莊 平
副 幹 事	池 田 い ず み	〃	滝 越 康 雄
副 幹 事	横 田 英 喜	〃	清 水 輝 彦
直 前 会 長	天 方 智 順	〃	高 橋 直 人
会 計 監 査	浅 野 洋	〃	柿 田 英 樹

2020-2021年度 第2500地区委員

副 ガ バ ナ ー	吉 田 潤 司	姉 妹 地 区 委 員 会 委 員	邵 龍 珍
監 査 委 員 会 委 員	尾 越 弘 典	地 区 規 則 ・ 手 続 委 員 会 委 員	小 船 井 修 一
諮 問 委 員 会 委 員	清 水 幸 彦	地 区 ロ ー タ リ ー 戦 略 計 画 委 員 会 委 員	吉 田 潤 司
諮 問 委 員 会 委 員	小 船 井 修 一	地 区 研 修 委 員 会 委 員 長	小 船 井 修 一
諮 問 委 員 会 委 員	吉 田 潤 司	地 区 研 修 委 員 会 委 員	吉 田 潤 司
地 区 ガ バ ナ ー 指 名 委 員 会 委 員	吉 田 潤 司	第 7 分 区 ガ バ ナ ー 補 佐	石 田 博 司
RLI 導 入 準 備 委 員 会 委 員	吉 田 潤 司	財 団 資 金 管 理 小 委 員 会 委 員	木 下 正 明
意 義 有 る 奉 仕 賞 委 員 会 委 員	吉 田 潤 司	資 金 推 進 小 委 員 会 委 員	石 田 博 司
姉 妹 地 区 委 員 会 委 員	吉 田 潤 司	ポ リ オ ・ プ ラ ス 小 委 員 会 委 員	石 田 博 司

会長基本方針



2020～2021 年度

会 長 舟 木 博

2020-2021 年度 釧路ロータリークラブスローガン

『Together! 次世代へ共に築こうロータリー!』

2020-2021年度RI会長ホルガー・クナーク氏は「ロータリーは機会の扉を開く」のテーマを掲げ、「奉仕の理想」実現の為、質の高いロータリーの門戸開放を提唱しております。昨今のロータリアン人口の減少を憂い又、会員の構成バランスの是正を願い、そして会員の資質向上を目指して計画を立案しております。もっと多くの若者や女性が共に活動する機会の創造を標榜し、ともに活動する幅広い人材を求められております。

Together の言葉はロータリーのビジョン声明の最初の一言であります。

“Together, We see a world where people unite and take action to create lasting change - across the globe, in our communities, and in ourselves.” (私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。)

本年度は、Together の精神を大切にロータリー活動を行います。また、2020-2021年度RI2500地区松田英郎ガバナーの掲げる「ランクアップしましょう」のテーマを目標としてワンランク上のロータリーを目指して活動したいと思います。

昨年度は、釧路ロータリークラブから17年振りの吉田潤司ガバナー誕生があり、RI2500地区大会を会員皆様の協力により成功に導きました。本年度は、危機的なコロナウイルスが待ち構えて居りますが何とか緊張感を持続して一年間努力していきたいと思っております。経済的にもリーマンショックを上回る激震に世界全体が襲われている状態ですが、皆様の一層の御協力をお願い申し上げます。

活動目標

- 1) 会員増強・退会防止に向け努力する。
- 2) ロータリー活動の広報に努力する。
- 3) ポリオプラスに協力する。
- 4) 国内の友好・姉妹クラブの可能性を調査する。
- 5) 継続事業の見直しを検討する。
- 6) ローターアクトの増強に協力する。
- 7) 台北中央ロータリーとの関係継続を検討する。
- 8) マイロータリーの100%を達成する。
- 9) 例会プログラムの充実を図る。

クラブ概況及び会務方針

幹 事 荒 井 剛

クラブの定款・細則に基づき、会長方針に従い、各委員会との連絡を密にして、会員各位のご協力とご指導を頂きながら、クラブ運営が円滑に進行できるように努力致します。

1. 会員数と内訳(7月1日現在))

会員数	93名		
正会員	93名	名誉会員	0名

2. 会員の年齢

会員の平均年齢	59歳
最年長会員の年齢	91歳
最年少会員の年齢	42歳

年齢別分布状況

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	昭和生
0	0	17	41	17	16	1	1	93

3. 会員のクラブ在籍年数の分布

1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	25年以上	平均在籍年数
7名	10名	4名	1名	3名	21名	14名	12名	4名	17名	13年

4. クラブの財政

- イ)クラブの財政は全て予算に基づいて運営する。
- ロ)会費は年額 150,000 円とし上期と下期にそれぞれ 75,000 円を納入する。
- ハ)新入会員は、入会時に入会登録金 30,000 円を納入する。
- ニ)ニコニコ献金の目標額達成を推進する。

5. 理事会

理事会は会長エレクトと直前会長を含む理事 11 名により構成し、毎月定例理事会を開く。

6. 委員会活動

委員会の構成及び活動計画は別項の通りとする。活動計画事業の実施に当たっては全会員の参加協力によるものとする。

7. クラブ協議会

- 第1回 6月4日(木) 活動計画書(案)討議
- 第2回 7月9日(木) ガバナーによるクラブ協議会及びガバナー公式訪問
- 第3回 1月14日(木) 上期活動報告、下期活動計画
- 第4回 6月17日(木) 年間活動の総括

8. 総会

12月3日(木) 年次総会

9. クラブフォーラム及び情報集会

クラブフォーラム及び情報集会は適時開催する。

10. 適時行われる第7分区内会長・幹事会に出席し、各クラブとの連携を密にし、親睦を深め共同で行う活動があればその都度検討する。

11. クラブに関する資料の作成

釧路ロータリークラブの会員名簿、会員の歴代所属委員会、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリスフェロー名簿、またクラブ創立以来の年表的なものを作成する。

12. 例会

- イ) 例会は毎週木曜日、12時30分より13時30分までとする。
- ロ) ビジターフィーは2,000円とする。但し、夜間例会は5,000円とする。
- ハ) 例会は禁煙とする。
- ニ) 年末クリスマス家族会は12月10日(木)とする。
新年交礼会は1月7日(木)とする。
最終例会(キャンドルパーティー)は6月24日(木)とする。
- ホ) 新入会員歓迎会を上期、下期各1回開催する。

13. その他

- イ) 会員増強のほか、退会防止に向け努力する。
- ロ) 姉妹クラブである台北中央RCとの関係継続を検討する。
- ハ) 国内の友好・姉妹クラブの可能性を調査する。
- ニ) 3月12日(金)に開催されるIMを主幹する。
- ホ) ローターアクトとの関係を再構築する。
- ヘ) 新型コロナウイルスの状況にもよるが「釧路ロータリーカップアイスホッケー大会」等の事業の見直しや独自の社会奉仕事業を検討する。
- ト) 会員のマイロータリー登録100%を達成する。
- チ) ポリオ・プラスに協力する。
- リ) ZOOM等のオンライン方式を活用することを含め、例会プログラムの充実を図る。
- ヌ) ホームページなどを活用し、釧路ロータリークラブの広報に努力する。

2020－2021 年度

釧路ロータリークラブ各委員会活動計画書

クラブ運営委員会

委員長	滝越	康雄
副委員長	伊藤	邦彦

クラブ運営委員会は、ロータリークラブの活動に於ける例会運営を担当する基礎的な委員会です。傘下の出席委員会、親睦活動委員会、プログラム委員会の三委員会が連動した活動を通じて円滑かつ活力あるクラブ運営に努めたいと思います。日常の運営を円滑にこなす中にも変化に対応できる組織運営に心がけます。例会プログラムの構成テーマには時代にリンクしたテーマを求めロータリーの基本である“奉仕”の枠内で最大限の表現をしたいと思います。

【出席委員会】

委員長	浅野 清貴
副委員長	浅川 正紳
委員	川合 隆俊 柴崎 主税
	関向 一

舟木会長が掲げるスローガン「Together! 次世代へ共に築こうロータリー」をもとに、1人でも多くの方に一回でも多く例会へ出席していただきたいと考えております。出席することにより、ロータリーを理解し、仲間を理解していただきたいと思います。その結果やるべき事、進むべき道が見えてくると考えます。そこで当委員会では以下の取り組みを積極的に行い、出席率の向上に努めてまいります。

1. クラブ運営委員会の各委員会と連携・協力して出席率の向上を目指します。
2. 定期的な出席報告を行い、参加意識の向上及び会員間の出席呼びかけを行います。
3. メークアップ活用をPRして、出席率向上を促します。
4. コミュニケーションを積極的に図り、出席しやすい環境を作ってまいります。
5. 出席率100%の会員への奨励賞を贈呈します。

【親睦活動委員会】

委員長	佐藤 貴之		
副委員長	五明 正吉	石鍋 斉	
委員	青木 泰憲	伊原 明	
	岩田 信一	黒田 恒史	
	須藤 隆昭	長瀬 雅信	
	増田 牧	森村 好幸	
	山原 活志	米倉 幸泰	

今年度当委員会では、舟木会長が基本方針に掲げている「Together! 次世代へ共に築こうロータリー!」を念頭に置き、各種事業を通じ会員相互の交流による友好関係を図ると共に、ロータリアンとしてより一層の自覚と誇りを持っていただけるよう委員会活動を推進して参ります。

当委員会は会員皆様のご協力がなくては成り立たない委員会で御座います。会員の皆様には積極的なロータリー活動へのご参加を切にお願い申し上げます。

活動実施計画

1. クラブ来訪者への取り組み
SAAと協力し歓迎の意をもって来訪者を迎え、道外からの来訪者にはバナーを贈呈します。
2. 例会会場の座席配列
より多くの会員と交流が出来るように座席配列を工夫します。
3. 記念品の贈呈
誕生日等のお祝いに記念品を贈呈します。
4. 年間行事予定
 - 1) 納涼ビアパーティー
 - 2) 野遊会
 - 3) 新入会員歓迎会
 - 4) 年末クリスマス家族会
 - 5) 新年交礼会
 - 6) キャンドルパーティー
 - 7) その他、親睦・懇親に関する行事
5. ニコニコ献金について
定められた目標額達成に努めて参ります。
会員皆様のご協力をお願いいたします。

【プログラム委員会】

委員長 中島 徳政
副委員長 杉浦 裕之
委員 木村 豊年 梁瀬 之弘

本年度、松田ガバナーは「ランクアップをしましょう」というテーマを掲げられ、舟木会長はクラブスローガンを「Together! 次世代へ共に築こうロータリー」とされました。これらに基づいて、ワンランクアップを目指して、会員の資質の向上に寄与できるようプログラムを提案、構成していきたいと思えます。

また、今年度の目標に「例会プログラムの充実」とあります。その期待に応えられるよう努力させていただきます。

活動の目標

1. 釧路の地域の理解を深める

地元のテーマもちろんの事、管内や道東、ひがし北海道から見た釧路や、ほかの都市との比較をすることにより、地元を知り愛着を持っていただけるようなプログラムを構成いたします。

2. 会員相互の親睦を深める

会員企業の活動を紹介していただく例会や、新しい取り組みなど会員の知識や話題を積極的に取り上げお話いただくプログラムや、親睦活動委員会とも連携して夜間例会にも講師をお呼びして楽しく学びつつ、親睦を深めるプログラムを構成いたします。

3. 釧路ロータリークラブへの理解を深める

80年を超えたクラブの歴史と伝統を学び、理解を深め会員一人一人がクラブに誇りを持ち続けるようなプログラムを構成いたします。

4. ロータリーへの理解を深める

「奉仕の理想」実現の為、初歩的ではありますが、ロータリーについて学び、奉仕活動について理解し、協力していけるプログラムを構成いたします。

2020-2021年度 例会予定

月 日	月間テーマ	内 容	担 当
7 2 9 16 23 30		会長幹事四大委員長挨拶 ガバナー公式訪問 講師例会「セピア写真で語る くしろ今昔物語」 休 会 納涼ビール(夜間)	理事会 理事会 プログラム委員会 海の日 親睦活動委員会
8 6 13 20 27	会員増強・新クラブ結成推進月間	会員卓話 休 会 職場訪問 新入会員歓迎(夜間)	プログラム委員会 お盆 職業奉仕委員会 クラブ研修委員会
9 3 10 17 24	基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間	嵯峨育英会奨学生紹介	嵯峨記念育英会委員会
10 1 8 15 22 29	地域社会の経済発展月間／米山月間	米山月間にちなんで 休 会	米山記念奨学会委員会
11 5 12 19 26	ロータリー財団月間	釧路RC創立84年記念例会(11/23) 情報集会報告会	クラブ研修委員会
12 3 10 17 24 31	疾病予防と治療月間	年次総会 クリスマス家族会(夜間) ロータリーカップアイスホッケー大会報告 休 会	理事会 親睦活動委員会 青少年奉仕委員会 年末休業
1 7 14 21 28	職業奉仕月間	新年交礼会(夜間) 上期を振り返って	親睦活動委員会 理事会
2 4 11 18 25	平和構築と紛争予防月間	節分にちなんで(夜間) 休 会 第7分区IM打ち合わせ	親睦活動委員会 建国記念日 IM実行委員会
3 4 11 18 25	水と衛生月間	第7分区IM打ち合わせ ロータリーの国際奉仕事業について 第7分区IMを終えて(夜間) 嵯峨記念育英会卒業報告	IM実行委員会 国際奉仕委員会 IM実行委員会 嵯峨記念育英会委員会
4 1 8 15 22 29	母子の健康月間	ロータリー社会奉仕活動について 地区研修・協議会に参加して 嵯峨記念育英会新入生紹介 休 会	社会奉仕委員会 理事会 嵯峨記念育英会委員会 昭和の日
5 6 13 20 27	青少年奉仕月間	情報集会報告会 新入会員歓迎(夜間)	クラブ研修委員会 クラブ研修委員会
6 3 10 17 24	ロータリー親睦活動月間	クラブアッセンブリー 1年を振り返って キャンドル(夜間)	理事会 理事会 親睦活動委員会

クラブ広報・会員組織委員会

委員長 清水 輝彦

副委員長 伊貝 正志

今年度のクラブ広報・会員組織委員会は、新型コロナウイルス感染症に伴う今までにない諸制約・制限あるいは自粛の中で、その活動を行っていきます。

2020-2021年度RI会長ホルガー・クナー氏は『ロータリーは機会の扉を開く』をテーマに掲げ、質の高いロータリーの門戸開放を提唱し、“奉仕の理想”の実現を目指しています。また、本年度の釧路ロータリークラブ舟木博会長は『Together!次世代へ共に築こうロータリー!』を基本方針とし、2020-2021年度RI2500地区松田英郎ガバナーが掲げる『ランクアップしましょう』のテーマを目標として、コロナウイルスが待ち構えてはいますが前向きに活動していくとのこと、当委員会はその実現に向かって活動していきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い当たり前と思えていたことが行えなくなっています。その一つが毎週の例会、また、地区大会もWEB会議となり配信されたものに参加、ということで、今後も状況に応じて対応していくことが求められる今日ですが、知恵を結集し何とか乗り越えていけるよう頑張りたいと思えます。

当委員会には3つの委員会がありますが、このような現状を踏まえつつ前向きに、かつ、その時々状況に応じて臨機応変に活動を行い、ロータリー会員はもちろんですが、地域の方々にも積極的に情報を発信し、ロータリーの活動を理解いただき身近に感じていただければと思えます。そうすることが、この危機的な状況の中でも退会防止はもとより会員増強に繋がると考えます。

予想を超えた、あるいは想定外ともいふべき状況に対応しながら、しかし、歴史と伝統も意識し委員会活動を行ってまいります。

会員皆様のご協力とご支援を心よりお願い申し上げます。

【クラブ会報・雑誌委員会】

委員長	水口 喜文
副委員長	市橋 多佳丞
委員	斎藤 浩記 佐藤 茂良
	白崎 義章

本年度、RI会長ホルガー・クナーク氏は「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマに掲げ、「奉仕の理想」実現の為、質の高いロータリーの門戸開放を提唱しております。また、RI2500地区松田英郎ガバナーは「ランクアップしましょう」、そして、舟木釧路ロータリークラブ会長は、「Together! 次世代へ共に築こうロータリー!」をスローガンに挙げられております。世界は今、新型コロナウイルスの蔓延により、未曾有の危機的状況になっており多くの人が苦しんでいる状況です。そして人との接触が制限される中、コミュニケーションの方法も変わってきているところでございます。そのような厳しい時だからこそロータリークラブの友情とネットワークをもつての奉仕の理想が求められるのではないのでしょうか。

そこで当委員会は、「ロータリーの友」の内容を例会で報告するなどし、ロータリー会員の皆様により一層質の高い活動ができるよう情報を発信して行きたいと考えます。また、地域の皆様にもロータリークラブの活動をご理解いただけるようホームページ等を通じ情報を提供し、次世代へつなげる活動を行ってまいります。

会員皆様のご支援、ご協力をお願いいたします

【実施要項】

1. ホームページでの例会報告
2. ホームページでの例会や委員会活動の案内
3. ホームページの管理・更新・運営
4. 既存コンテンツの維持、発展
5. 新たな情報発信方法についての調査、研究、実施
6. 「ロータリーの友」購読への一層の推進

【会員増強・選考・職業分類委員会】

委員長	松井	聖治		
副委員長	五十嵐	正弘		
委員	川本	和之	瀧波	大亮
	羽田野	貴志	林	英樹

今年2020-2021年度国際ロータリー会長ホルガー・クナーク会長は「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマに掲げられました。その機会の扉を数多く開くことができるよう会員増強・維持に努めて参ります。

そして舟木釧路ロータリークラブ会長の「Together! 次世代へ共に築こうロータリー!」のスローガンを念頭に今年度当委員会では、会員拡大の重要性を再確認、再認識し積極的に拡大運動に取り組んで参ります。

具体的には、通年での会員数100名を維持するため、会員増強及び退会防止に努め、純増8%(8名)の会員増を目標とします。そのためには、全会員が会員拡大への意識を持ち、広く入会希望者の情報を集め、積極的に活動させていただきます。また、女性会員の拡大にも積極的に取り組んで参ります。

釧路ロータリークラブの魅力をさらに大きなものとするためにも、さらなる会員拡大が必要と考え活動して参りますので、御支援、御協力の程よろしくお願い致します。

【クラブ研修委員会】

委員長	邵	龍珍
副委員長	脇	弘幸
委員	天方	智順

クラブ研修委員会は昨年度より、当クラブ会員にロータリーへの理解を深める事を目的に、情報委員会から名称を変更した委員会です。

歴史と伝統がある当クラブの事を、全会員が少しでも知識として得るならば、必ずクラブを好きになり、より楽しいロータリーライフを、より一層素晴らしく意義あるクラブ活動ができる会員が一人でも多くなるよう、次の活動を行ってまいります。

- 1 新入会員に、入会時オリエンテーションを実施し、ロータリーの歴史や組織、目的、義務をわかりやすく説明し、理解を深めるように努めます。
- 2 新入会員歓迎会（上期・下期、各1回）を親睦活動委員会と連携し開催します。
- 3 RI会長のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を念頭に、情報集会（炉辺会合、上期・下期、各1回）を会員相互の親睦と理解を深めていき、ロータリアンとしての行動を移す機会になるようなテーマをしっかりと定め、会員相互が自由に語り合える貴重な時間になるよう努めます。
- 4 我が2500地区、松田ガバナーは「ランクアップしましょう」をテーマにしております。
会員の皆様が、歴史と伝統ある当クラブの一員としての自覚のもと、時が時ではありますが、出来る時期にタイムリーな議題を学ぶクラブ研修セミナーを開催し、自らのランクアップを目指せるようにします。
- 5 会員の皆様には例会出席や各クラブへのメイクアップ、クラブ内の各種会合、またIMや地区大会等、分区、地区の会合にも出来る環境下になれば積極的に参加するよう奨励します。尚、時が時だけに、リモート会議を始めとするZoomや各ネットを使った会合等にも対応して参加を奨励していきます。

奉仕プロジェクト委員会

委員長 高橋 直人

副委員長 尾越 弘典

R I 会長ホルガー・クナーク氏の提唱する「ロータリーは機会の扉を開く」、

R I 2 5 0 0 地区松田英郎ガバナーの掲げる「ランクアップしましょう」、

及び舟木会長方針「T o g e t h e r ! 次世代へ共に築こうロータリー！」に従い、
歴史と伝統を大切にしながら活動に取り組んで参ります。

昨年度は、釧路ロータリークラブから17年振りの吉田潤司ガバナー誕生があり、R I 2 5 0 0 地区
大会を会員皆様の協力により成功に導きました。本年度は、危機的なコロナウイルスが待ち構えて居
りますが何とか緊張感を持続して一年間努力していきたいと思えます。

奉仕プロジェクト委員会は、四つの委員会で構成されております。この委員会を通じて、継続されて
きた活動はもとより、会員の方々のご協力を頂きながら今年度は、目標をもって取り組んで参ります。

【社会奉仕委員会】

委員長	吉田 英一		
副委員長	武久 晋治		
委員	泉 敬	打矢 静司	
	工藤 彦夫	樋口 貴広	
	前田 秀幸		

ホルガー・クナークRI会長が提唱する「ロータリーは機会の扉を開く」とRI2500地区松田英郎ガバナーが掲げるガバナー方針「ランクアップしましょう」を理解し、ロータリアン一人ひとりが“Service Above Self”「超我の奉仕」を実践することが社会奉仕であり、釧路ロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもあります。

当委員会では、舟木会長方針に基づき、社会奉仕を通じて、地元地域のニーズに取り組み、長期的な改善をもたらすために地域の人々とともに活動します。

【職業奉仕委員会】

委員長 村上 祐二
副委員長 後藤 公貴
委員 熊谷 任明 吹谷 浩康

今年度、職業奉仕委員会では、R I会長、松田ガバナーのテーマとスローガンを踏まえ、舟木会長のテーマ「Together!次世代へ共に築こうロータリー」をもとに委員会活動に取り組んで参ります。

他の奉仕団体にはないロータリークラブだけが持つ特質ともいえる「職業奉仕」。

稼いだお金の一部を社会に寄付する事や、ボランティア活動も大事ですが、4つのテストを各論とし、倫理的に職業を営むことで初めて職業を通じて社会に奉仕できると考えます。

私のようなキャリアの浅い会員をはじめ、改めて皆様と共にこの「職業奉仕」の意味を知る機会の扉を開き、例会を通し「入りては学び」、職場の中で「出ては奉仕」を目指し、よりランクアップ出来る一年となるよう活動して参ります。

【国際奉仕委員会】

委員長 小船井 修一
副委員長 小野寺 俊
委員 齋藤 史行 高橋 徹次
西村 智久 吉田 潤司

ロータリーが持つ独自性に「職業奉仕」と「国際奉仕」があると言われています。
職業奉仕理念はロータリーの独自性の代表的なものであることは言うまでもありません。

一方、国際奉仕に関してロータリー章典（2020年1月版）では「ロータリー運動の歴史面での『奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する』という国際奉仕の概念が、1922年に綱領の第6項目として正式に明文化され現在に至っています。」と国際奉仕を規定し、

さらに国際奉仕委員長の責務に「国際奉仕委員会の委員長は、プロジェクトの立案と実施に関するリソースと戦略への関心をさらに高め、特定分野に関する地域の主な専門家を見つけ、あらゆる種類の国際奉仕について直接の連絡網を確立し、説明責任を推進することに努める。」としています。

クラブの国際奉仕委員会は以上の責務に準拠しながらクラブでの国際奉仕活動への連携と助言、さらに理念面でのクラブ会員の認識を深めることを責務に加えたいと思います。

具体的な活動

- 1 会長方針を受け、TRF（ロータリー財団）関連委員会だけではなく国際的な活動を担う米山奨学会等に関する情報収集、助言を行います。
- 2 クラブの過去の国際奉仕活動の歴史、経過、意義に関する考察と今後の国際奉仕活動の「ありかた」についての情報収集と助言を行います。
- 3 クラブ会員の国際奉仕に関する認識を深めるための例会を開催します。
- 4 地区国際奉仕委員会と連携を密にし、国際ロータリーの国際奉仕等に関わる諸情報をクラブ会報で迅速に提供します

【青少年奉仕委員会】

委員長	古谷	守生		
副委員長	及川	雅順		
委員	池田	一己	池田	優
	白幡	博	得地	哉
	米本	富夫		

本年度の青少年奉仕委員会ではR I 会長ホルガー・クナーク氏の「ロータリーは機会の扉を開く」、R I 2500 地区松田ガバナーの「ランクアップしましょう」、舟木会長の「Together! 次世代へ共に築こうロータリー!」

この三つのテーマ、スローガンを軸に釧路ロータリークラブの歴史と伝統を紡ぎながら次世代・新世代を担う青少年達の健全育成のために、地域の方々と共に活動してまいります。

諸活動に関しては新型コロナ・ウイルスの終息が前提となりますが例年同様に計画致しますので、会員皆様のご指導、ご協力をお願い致します。

1. 全道中学親善硬式野球大会への支援、協力
2. ローターアクトクラブ・インターアクトクラブとの交流
3. ライラセミナーへの参加
4. 釧路ロータリーカップ・アイスホッケー大会の開催

ロータリー財団・奨学推進委員会

委員長 柿田 英樹

副委員長 吉田 秀俊

平成が終わり、気持ちも新たに日本国民の平和への祈りを込めた新元号「令和」。そして改元後初新年を迎えた令和2年の今年。夏には56年ぶりの2020東京オリンピック開催という、国民のあふれる希望と日本の更なる経済発展へのおもいと努力が盛り上がり始めたその矢先、日本を含めた世界は「COVID-19」の猛威に翻弄され、そのオリンピックは延期を余儀なくされ、あらゆる経済活動の停止や人々の日常生活が激しく制限されるという事態となりました。

しかし、私たちはこの未曾有の経験から何かを学んで次に繋げていかなければなりません。それが次世代を担う子供たちに対してであることは言うまでもないと思います。

ロータリークラブが貢献できることを、当委員会は「ロータリー財団寄付推進委員会」「米山記念奨学会委員会」そして「嵯峨記念育英会委員会」の三つの委員会を通して努力させていただき、またロータリアンとしての新たな自覚の機会とさせていただきたいと強く考えます。

舟木会長の方針の下「Together! 次世代へ共に築こうロータリー!」を実践していきたいと思しますので、会員の皆様のご理解ご協力をこころよりお願い申し上げます。

【ロータリー財団寄付推進委員会】

委員長	芦名 健一
副委員長	本間 榮一
委員	石田 博司 片山 昭生
	久島 貞一 中村 幸史

今年度、ロータリー財団・寄付推進委員会では、歴史と伝統ある釧路ロータリークラブがこれまで以上に生き活きと魅力あるクラブとなるよう積極的に行動して参ります。

ロータリー財団の内容や重要性を発信し、その使命をメンバー全員が知っていただけるよう、以下の項目について重点的に活動して参ります。

1. ロータリー財団への理解と寄付の推進
2. ロータリー財団認証ポイントの理解と利用促進
(財団認証ポイント利用についてのクラブ規定の検討)
3. ポールハリスフェロー認証受領者の増強

【米山記念奨学会委員会】

委員長	濱谷美津男
副委員長	大道 光肇
委員	青田 敏治 栗林 定正
	谷川 富成 登坂 康弘

米山記念奨学会は、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、日本に在留し、勉学、研究を志している外国人留学生に対し、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。

将来、母国と日本との懸け橋となり、国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

当財団の目的・活動内容等について推進月間をとおして、ご理解を深めていただけるよう活動してまいります。

1. 米山チャリティーコンペをなゆたの会との協力を通して、共同開催し、米山記念奨学会への寄付の理解と推進を図ります。
2. 米山功労者の増加を目的に、特別寄付金への協力をお願いする。
3. 米山カウンセラーと協力して、奨学生の活動を支援します。

【嵯峨記念育英会委員会】

委員長 菅原 顯史
副委員長 田中 正己
委員 栗林 延次 清水 幸彦

当委員会は、釧路ロータリークラブが独自の育英会として長年にわたって運営発展に尽力している、公益財団法人嵯峨記念育英会を支援する委員会です。

本年度も、クラブ内に脈々と受け継がれてきた、青少年への育英事業の推進と発展に努め、活動して参ります。

1. 新奨学生を例会に招待し、祝福並びに激励する。
2. 来春卒業を迎える奨学生を3月例会に招待し、卒業後の進路やこれから歩む人生の抱負を語っていただき、記念品を贈呈するとともに祝福並びに激励する。
3. 今後の事業継続と発展のための財源確保を計るべく、会員の理解と協力をお願いし推進する。

S.A.A.

S.A.A. 木下 正明

副S.A.A. 樋口 貴広

会長方針に従い、歴史あるクラブの品位と秩序を保ちながら、楽しい例会となるように心配りします。

1. 例会は時間厳守、全員着席のもと、開会宣言・点鐘が行われ、静かな雰囲気の中で開催できるようにします。
2. 来訪ロータリアン・ゲストスピーカー・お客様を温かく迎え、気持ちよくお帰り頂けるようにします。
3. 例会が円滑に進行するように、会場の整理、座席、食事にも気配りします。